

生成 AI の利活用に関する Q&A

【安全性・セキュリティについて】

Q：子供が入力した名前や学習内容が、AI に取り込まれたり外部に漏れたりしませんか？

A：学校では、教育委員会が安全性を確認し、特別に契約したサービス（Gemini、NotebookLM、Copilot、Canva 教育版）のみを使用します。これらのサービスは、教育委員会が付与した専用アカウントでログインして使用することで、入力した情報が AI の学習に再利用されない設定になっています。また、規約により氏名、住所、成績などの個人情報の入力は厳に禁止しており、情報の安全管理を徹底しています。

Q：ChatGPT など、他の有名な AI サービスは使ってもよいのですか？

A：学校の児童生徒用 1 人 1 台端末（クロームブック）においては、ChatGPT の使用は禁止しています。これは、入力情報の安全性が教育委員会の管理下で確保できないためです。利用できるのは、教育委員会が認可した 4 つのサービス（令和 8 年 9 月時点）に限定されます。

【学習への影響について】

Q：AI に頼りすぎて、子供が自分で考えなくなってしまうのではないかと心配です。

A：松江市では、AI はあくまで思考を補助する「道具」であるとしており、レポートや感想文を AI に丸投げして作成させることは規約で禁止しています。AI の回答をそのまま提出するのではなく、それを「たたき台」として自分の言葉で推敲するなど、自らの思考や努力を伴う活用を指導してまいります。

Q：AI の回答には間違いもあると聞きますが、教育上問題はありますか？

A：ご指摘の通り、AI には回答に間違い（ハルシネーション）があったり、偏った考えを出力したりするリスクがあります。学校では「AI の回答は必ずしも正解ではない」という前提に立ち、情報の真偽を確かめるファクトチェック（情報の裏付け確認）の重要性を学ぶ、情報リテラシー教育の教材としても活用します。

【利用のルールについて】

Q：生成 AI を授業で必ず使わなければならないのでしょうか？

A：必ずしも全ての授業で利用するわけではありません。学習指導要領に基づき、各教科の目的を達成するために効果的であると判断された場面で活用します。また、発達段階に応じて慎重に見極めながら進めてまいります。

Q：家庭のパソコンやスマートフォンで AI を使う際も、学校のルールが適用されますか？

A：学校の宿題や課題として生成 AI を利用する場合は、本規約のルール（個人情報を入力しない、引用元を明記するなど）を遵守する必要があります。学校外での不適切な利用を防ぐためにも、ご家庭と連携して子供たちの情報活用能力を育てていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

【同意手続きについて】

Q：同意しなかった場合、授業や成績で不利になることはありますか？

A：利活用を希望されないことで、成績評価において不利になることはありません。授業では別の方法で学習を進めるよう対応いたします。ただし、生成 AI を適切に使いこなす力（情報活用能力）を育むことは、これからの社会において極めて重要であると考えています。

※本回答案は「松江市教育委員会 生成 AI 利用規約」および「文部科学省ガイドライン」に基づいて作成しています。